

Aーが教えてくれる挨拶文

今もなお意地をはり合う共白髪

いつからか病を友に歩いてる

古い二人「おい」でこと足る三ケ日

初春に賀状じまいの添え書を

林 陽子

寺畑 俊子

寺畑 末雄

藤井 節子

今川 昇

えーあいがおしえてくれるあいきつぶん

いまもなおいじをはりあうともしらが

いつからかやまいをともにあるいてる

おいふたり「おい」でことたるさんがにち

はつはるにがじょうじまいのそえがきを

はやし ようこ

てらはた としこ

てらはた すえお

ふじい せつこ

いまがわ のぼる

百歳の笑みは少年春隣

林 保江

断捨離の手留まりたるや冬帽子

村瀧 富子

寒鴉漁なき船を闊歩せり

田中 孝利

晴天にシートツ広げて十二月

山本 隆子

短日や捲し立てたる現地アナ

馬場 精作

ひやくさいのえみはしょうねんはるとなり

はやし やすえ

だんしゃりのてとまりたるやふゆぼうし

むらたき とみこ

かんがらすりょうなきふねをかつぽせり

たなか たかとし

せてんにしーつひろげてじゅうにかつ

やまもと たかこ

たんじつやまくしたてたるげんちあな

ばば せいさく

入浴のかかりの看護師あふるる汗
ぬぐわず陽気にわが背を流す

河野 敬子

人も灯も消えた静かな元旦に
受験生こぐ自転車がゆく

山口 正子

夕食のメニューを決めてラインする
早く帰ってとなかなか言えず

弘重 和恵

手のひらで呼吸を止めた冬の蝶
今度は春に生まれておいで

賤間 星

前向きに母のようにはなれなくて
それでも元気に新年迎う

中司 和子

にゆうよくのかかりのかんごしあふるるあせ
ぬぐわずようきにわがせをながす

かわの としこ

ひとつもひもきえたしずかながんとんに
じゅけんせいこぐじてんしゃがゆく

やまぐち まさこ

ゆうしよくのめにゆーをきめてらいんする
はやくかえってとなかなかいえず

ひろしげ かずえ

てのひらでこきゆうをとめたふゆのちょう
こんどははるにうまれておいで

ざいま せい

まえむきにははのようにはなれなくて
それでもげんきにしんねんおかう

なかづか かずこ

自由律俳句

深呼吸だ ため息じゃない

権代 祥一

街を抱きしめる八階テラスの小さな手

佐川 智英実

着ぶくれの新聞受け一月一日

西岡 悦子

朝寝朝風呂老二人の元旦

賤間 由美子

薬を友に旅の白湯

松下 満江

しんこきゅうだ ためいきじゃない

ごんだい しょういち

まちをだきしめるはっかいてらすのちいさなて

さがわ ちえみ

きぶくれんのしんぶんうけいちがついちじつ

にしおか えつこ

あさねあさぶろろふたりのがんとん

ざいま ゆみこ

くすりをともにたびのさゆ

まつした みつえ